

タイトル: 作業現場の環境改善への4つの取組み

会社名: 矢橋大理石(株) 氏名: チャン ゴック チャン

出身国: ベトナム

皆さん、こんにちは。私は、チャン ゴック
ク チャンと申します。28歳です。ベトナム
ムカウ来ました。

私は、2015年の11月に実習生として初
めて来日し、3年間矢橋大理石という建築石
材の会社で石を取り付ける仕事をしていまし
た。3年経ってから一度帰国し、7ヶ月後に
ふたたび建設就労者として来日して、同じ会社
で働いています。今年の年末に帰国する予定
です。

初めて来日したころは、日本語がわからず仕
事やゴミの出し方で叱られ、悲しい思いをし
ました。そこで、日曜日に日本語教室に通っ
て勉強を続けているうちに、日本語がわかる
ようになり、今では仕事や日常生活が楽しく
なりました。

では、今日は私が建築現場で気づいた問題
と改善についてお話したいと思います。

私は、以前より現場で出るゴミの量が多い
ことが気になっていました。たくさんの業者

タイトル: 作業現場の環境改善への4つの取組み

会社名: 矢橋大理石(株) 氏名: チャン ボック チャン

出身国: ベトナム

が作業をするので、多くのゴミが出るのは仕方のないことですが、ゴミの分別の方法が現場によりまちまちです。とても細かに分別する現場と混廃で捨てる現場があり、心配になることがあります。混廃は楽ですが、その分別の費用が増えると聞いたことがあります。だから、現場では面倒でもきちんと分別したほうが、環境や安心安全の面でも良いと思います。

寮生活の私は、丁寧にゴミの分別をしています。可燃ゴミ、不燃ゴミ、びん、缶、ペットボトルなど、リサイクルできるように分別しています。東京五輪のメダルは、廃棄される電子機器から作られたそうです。素晴らしい活用方法だと思います。

私の母国ベトナムでは、ゴミの分別や再利用は限られ、ほとんど埋められてしまいます。本当にもったいないです。リサイクル可能な廃棄物を使用することは、とても大切なことだと思います。ゴミの処分やリサイクルにつ

タイトル：作業現場の環境改善への4つの取組み

会社名：矢橋大理石(株)氏名：チュンゴックチュン

出身国：ベトナム

いては、日本はとてもすぐれていると思います。
ぜひこの日本の技術をベトナムにも普及
させたいです。

そこで、私はゴミ問題も含めた現場の環境
改善とその取組みについて4つ考えてみまし
た。

一つ目は、取壊した建築資材の再利用です。
古い石材を磨きなおしたり、薄く削ったりし
てもっと再利用することで廃棄物を減らす。

二つ目は、軽量で機能性を高める資材の技術
開発を進めることです。私の会社ではアルミ
に薄くした石を張りつけた軽いパネルを開発
中です。石の美しさはそのままに、作業がと
てもやりやすく安全になります。

三つ目は、現場から出る産業廃棄物の減量で
す。

石は欠けやすいので、たくさんの資材で梱包
されています。少しでも梱包の資材を減らし
たり、混廃をやめるなどの取組みが必要だと
思います。

TODA MIRAI FOUNDATION

タイトル: 作業現場の環境改善への4つの取組み

会社名: 矢橋大理石(株) 氏名: チャン ユク チン

出身国: ベトナム

四つ目は、作業工程でのロボット化の推進です。

これは、ロボットの導入で人間の労力を軽減するということです。現場の職人さんは、年配の人が多く実習生も増えています。最新の技術を使ったロボットが作業をすることはできないでしょうか。

以上のような取組みで廃棄物を有効に活用し、少しでも減らすことができれば、現場の環境改善につながると思います。私は、これからも良い環境作りに取り組んで、将来は母国のゴミ問題の改善に努力していきたいです。

最後に、環境問題は地球全体に影響があるとても重要なことです。まずは自分の身の回りのことを考えてみましょう。つまり、できることから一つずつ取組むことが大事だとお伝えして私のスピーチを終わります。

ご清聴ありがとうございました。